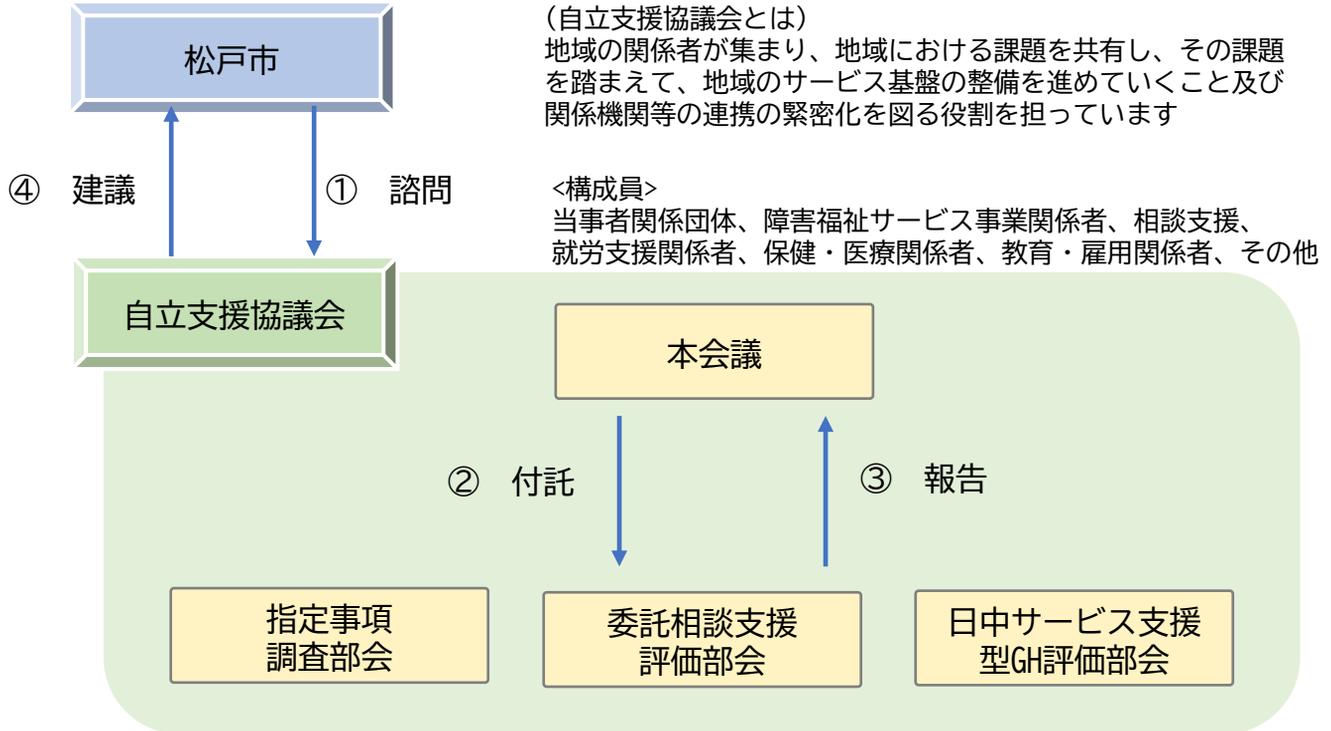


## 自立支援協議会

(自立支援協議会とは)

地域の関係者が集まり、地域における課題を共有し、その課題を踏まえて、地域のサービス基盤の整備を進めていくこと及び関係機関等の連携の緊密化を図る役割を担っています



&lt;構成員&gt;

当事者関係団体、障害福祉サービス事業関係者、相談支援、就労支援関係者、保健・医療関係者、教育・雇用関係者、その他

会議名称	概要
委託相談支援評価部会	市が委託する基幹相談支援センター等の評価を実施。
日中サービス支援型GH評価部会	日中サービス支援型GHは年に1度市町村協議会等の評価を受け、必要な要望・助言を聴くこととされており、当部会において評価を実施。
指定事項調査部会	市からの諮問を受け、建議を行う。 [R7年度諮問事項] ・障害のある方が安心して就労できる環境づくり ・要支援児童に対する関係機関との切れ目のない連携支援 ・相談支援体制の連携強化及び計画相談の質の向上 ・個別事例の検討を通じた地域課題の改善

## 松戸市障害福祉のあり方検討会

(あり方検討会とは)

各専門分野における問題や課題を共有し、その解決に向けた意見交換を通じて松戸市の福祉のあり方を検討する他、松戸市地域自立支援協議会等からの求めに応じて、情報を提供する。

## 構成員

## 相談支援部会

指定特定相談支援事業所、ほっとねっと、社会福祉協議会、こども発達センター、基幹相談支援センター等

## 就労支援部会

就労関係事業所（移行・A型・B型）、特別支援学校（進路指導担当）、ビッグ・ハート松戸、基幹相談支援センター、公共職業安定所等

## こども部会

障害児関係事業所、特別支援学校、市関連課（保育課、子ども居場所課、学習指導課、母子保健担当室、こども発達センター）医療機関、当事者団体

## R6年度建議書内容概要

NO	区分	建議書意見概要
1	就労	次年度より就労選択支援制度がスタートし、本制度が「当事者の働き方の選択肢を広げる」ことに寄与することからも、松戸市から具体的な取り組み内容の共有、指針を示していただき、円滑に制度利用できるよう尽力していただきたい。
2	就労	障害者雇用の拡大に向け、企業に対する啓発活動等を実施する機会の提供を松戸市としても継続して検討していただきたい。
3	障害児	早期相談支援マップを幼稚園、おやこDE広場等へ配布することにより更なる周知を図る他、ライフサポートファイルに受給者証等が保管できるようクリアポケットを添付する、パソコンからの入力を可能とする等、利用者の拡大に向けて、利便性の向上を検討していただきたい。
4	障害児	医療的ケア児を受け入れられる事業所・支援者が増えるよう、現状の把握、各種体制の整備を検討していただきたい。
5	障害児	近隣市では医療的ケア児等コーディネーターを配置し、総合的な相談、調整を担っていることから、松戸市においても配置の検討を進めていただきたい。
6	相談	今後、切れ目のない支援の好事例を収集する等、支援の仕組み化に向けて引き続き検討していただきたい。
7	相談	相談支援事業所への補助制度の創設検討や、市への提出書類の軽減等、相談支援事業所を支援する方策を検討していただきたい。
8	相談	地域移行支援の担い手となる地域生活支援拠点コーディネーターの配置を検討するとともに、圏域のにも包括との連携を引き続き進めていただきたい。
9	相談	基幹相談支援センターに対し、医療上の相談に対応できる担当者の配置の義務付けを検討していただきたい。
10	相談	介護保険のように問診票を作成し、認定調査の意見書を近隣の医療機関からも取得しやすくなるよう検討していただきたい。
11	障害児	令和6年4月に施行された改正児童福祉法において、児童発達支援センターに求められる中核機能が示されたが、今後は松戸市においても積極的に検討していただきたい。
12	委託評価	地域の相談支援事業所へのスキルアップ研修の継続及び障害福祉課と連携しながら基幹相談支援センターの更なる周知を求めます。
13	委託評価	複数の事業所において評価点が高得点で推移しているため、評価基準及び項目の見直しを検討していただきたい。
14	委託評価	評価結果に事業所ごとの相談件数の記載を次年度から行っていただきたい。
15	GH評価	近年取りざたされている食材費の過大徴収等の障害者グループホームの運営に係る問題を受け、自立支援協議会において継続して情報共有を図ることを検討していただきたい。